

ニュースリリース

2010年8月吉日

開発虎ノ門コンサルタント株式会社
エバタ株式会社

都市域雨水氾濫抑制シミュレーションシステムの開発

開発虎ノ門コンサルタント株式会社(山下幹夫社長)とデイ・シイグループのエバタ株式会社(斎藤章社長)は、共同で都市域雨水氾濫抑制シミュレーションシステムを開発した。

当システムは、近年多発しているゲリラ豪雨等による人的被害、資産被害を抑制するため、都市域氾濫解析シミュレーションにより、被害発生地域や被害額を算定し、それに見合う投資額での抑制施設の設置場所と規模の最適化を図るものである。システムのコアとなる氾濫シミュレーションには、国交省国土技術総合研究所で開発された「都市域氾濫解析モデル Nilim2.0」を採用し、入力データは、基本として公開データ等を使用している。

開発虎ノ門コンサルタント(株)は、広範囲に環境分野における調査・計画・設計業務を手掛けており、一方エバタ(株)は、再生プラスチックを有効利用した雨水貯留浸透製品を製造販売している。

両社は、それぞれの得意分野を活かし、このシミュレーションシステムを開発した。大きなメリットは、雨水氾濫抑制のため、これまでのエバタ(株)のノウハウを活かし、最適な雨水貯留浸透製品の設置場所や規模を決定できることである。

特にエバタ(株)は、自治体よりシミュレーション解析業務を受託し、雨水貯留浸透製品の販売強化を狙う。すでに一部自治体へ提案しており、さらに都市地区を中心に展開していく予定。

(問合せ先)

- ・開発虎ノ門コンサルタント株式会社：03-3985-5075 担当 松村
- ・エバタ株式会社：03-3600-1524 広報担当 高山 03-3600-1522 営業担当 佐藤

数値的な被害額を算定し、適切で的確な無駄のない投資を

都市域氾濫シミュレーションによるゲリラ豪雨対策

(最適な雨水貯留浸透槽の設置検討が可能)

国土交通省 国土技術総合政策研究所で開発された「都市域氾濫解析モデルNilim2.0」を使用



近年多発しているゲリラ豪雨による人的被害、資産被害を抑制するため都市域氾濫解析シミュレーションにより、被害発生地域や被害額を算定し、的確な投資額での抑制施設の設置場所と規模の算定が行えます。



開発虎ノ門コンサルタント株式会社
Kaihatsutoranomon Consultant co.,ltd

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-20-6

TEL:03-3985-5075 FAX:03-3985-5091

URL: <http://www.kckk.co.jp/>

E-mail: info@kckk.co.jp

◆問合せ先



EBATA エバタ株式会社

〒125-0041 東京都葛飾区東金町1-38-2

TEL:03-3600-1522 FAX:03-3600-2090

URL: <http://www.ebata.co.jp/>

E-mail: eigyoun@ebata.co.jp

START

湛水量計算における入力条件の設定

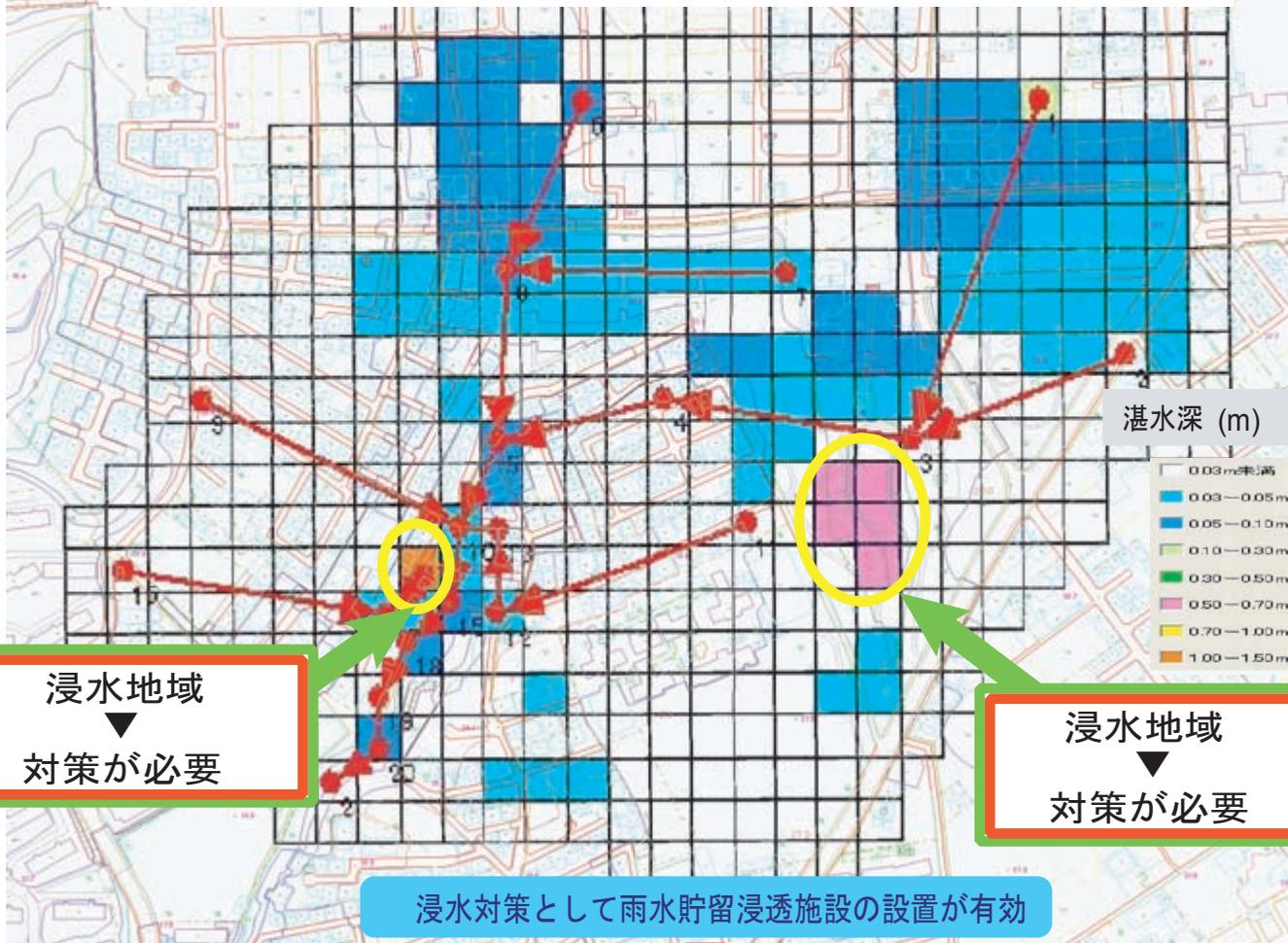
降雨入力データ・解析入力データ各種

被害額計算における入力条件の設定

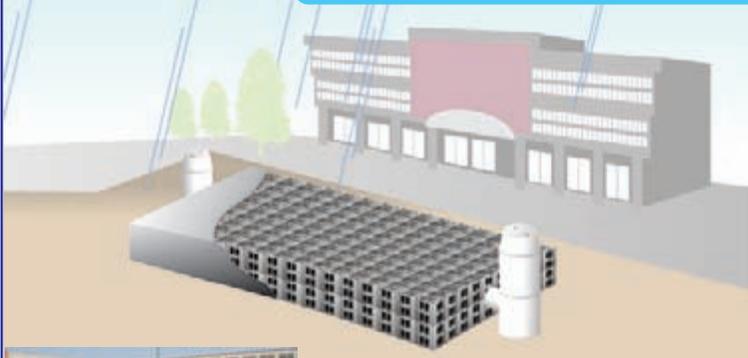
(総務省の地域メッシュ統計データにより、家屋の床面積、世帯数、家屋の評価額、家庭用品評価額などを入力)

湛水深、湛水量および被害額計算

解析結果の検証



被害相当額の投資に応じた、湛水量・地下水位・土質などの
対策地域、場所に応じた最適な雨水貯留浸透施設の種類・規模を選定



効果的な貯留浸透施設の設置で、豪雨による浸水被害を
低減・抑制し大切な都市と資産を守ります

